

施設名	静岡市長田生涯学習センター			所在地	静岡市駿河区寺田131番地の1	
				電話番号	054-257-0780	
所管部署	静岡市生涯学習センター	HP	https://sgc.shizuokacity.jp/	SNS	X、Facebookともに@shizuoka_sgc	

○施設外観・事業風景



○施設概要

施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考えなど(PRポイント等を含む)	
昭和55年:長田公民館開館 平成21年:長田生涯学習センターに名称変更 平成21年より、公益財団法人静岡市文化振興財団が指定管理者として管理運営している。		近年では、地域包括支援センターや市社会福祉協議会などと協力し、当センターを利用しない方にも参加できる講座を企画しています。高齢者に向けた取り組みにより、孤立をしないよう働きかけを行い、趣味、仲間づくり、ボランティア人材の発掘を進めています。今後も地域の人材を発掘、育成のほか、人と人との繋がりをもてる施設を目指していきます。	
市町人口	670566人	施設対象人口	60900人
建物設置年月日	昭和55年	開館日数(前年度実績)	293日
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> 市町首長部局 <input type="checkbox"/> その他 ()		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 7人
講座等開催数(前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 138回 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会・展示会等 2回	<input checked="" type="checkbox"/> その他 2回	合計 142回
来館者数(前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2389人 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 41191人 <input type="checkbox"/> その他 0人	合計 43580人

○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

区分	事業名	開催回数	延参加者数	区分	事業名	開催回数	延参加者数
<input type="checkbox"/> 主催 <input checked="" type="checkbox"/> 共催	用宗漁港でシラスを知ろう	1回	34人	<input type="checkbox"/> 主催 <input checked="" type="checkbox"/> 共催	避難生活で命と健康を守るために～多様な人々の視点から備える～	1回	69人
事業概要(共催先も記載)				事業概要(共催先も記載)			
静岡市水産漁港課・清水漁業協同組合用宗支所と共催。小学生の子とその保護者を対象とし、静岡特産のシラスについて学ぶ講座を実施。漁船での操舵体験や市場の見学やセリの様子模擬体験を通じて地元水産業への理解を深めた。				長田地域の自治会と共催。性別や立場による困難、プライバシーや衛生問題、孤立などの具体的な課題を講演。避難所以外の避難形態や支援制度についても理解を深めた。参加者の防災意識向上に寄与し、地域の防災力強化に貢献した。			



施設名

静岡市長田生涯学習センター

○特色ある事業

1. 事業名

ゼロから始める地域のボランティア

2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

近年、高齢化が進み、介護や見守り、買い物支援などのニーズが高まっている。一方、かつてのような「地域の支えあい」が難しくなっている。高齢者の孤立防止や地域の安心感の醸成には、地域住民によるボランティアが重要であると考えた。そこで、経験や知識がなく一歩を踏み出せずにいる人を対象に、ボランティアの基礎知識や活動の意義、実践例を学ぶことを通じて、地域社会とのつながりを実感し、自分のできることから行動に移すきっかけ作りを目的に講座を開催した。

3. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

地域の福祉を担う「地域包括支援センター」及び「市・地区社会福祉協議会」との共催により、信頼性と安心感のある講座運営に努めた。

- ・地域課題の「現場の声」に基づいた学習
- ・講座終了後の活動先とのマッチング

4. 参加対象、参加者数（前年度実績）

参加対象	どなたでも	参加者数	26人
------	-------	------	-----

5. 取組による成果や効果

- ・地域での様々なボランティア活動を紹介することができた。
- ・ボランティアの意義、地域課題への理解が深まった。
- ・実際に地域ボランティア活動に参加する人が増え、地域福祉の担い手育成につながっている。
- ・地域住民同士や関係機関とのつながりが生まれ、孤立防止・共助の風土づくりの一助となった。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・講座終了後のアンケートにより、受講者から意見等を聴取し、これをもとに評価反省を実施。
- ・施設の重点事業とし、運営委員会において取組内容や募集状況等を説明し、委員から意見を求めている。
- ・終了後も、共催団体と振り返りの機会（意見交換の場）を設け、次回講座に反映させている。



7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

- ・長田生涯学習センターでは、「地域たすけあいボランティア人材養成」を重点事業として令和6年度から10年度までの5ヶ年計画として展開していく。
- ・5年後の目指すまちの姿として「すべての人が助けられ、見守りを得て安心安全に生活できるまちづくり」を掲げ、引き続き、「地域包括支援センター」及び「市・地区社会福祉協議会」と共催しながら目標達成に向け、人材養成講座のさらなる充実を図っていく。